

潜在的に支援が必要な子どもをアウトリーチ支援につなげるための情報・データ連携に係る実証事業
令和4年度補正予算額 12.0億円

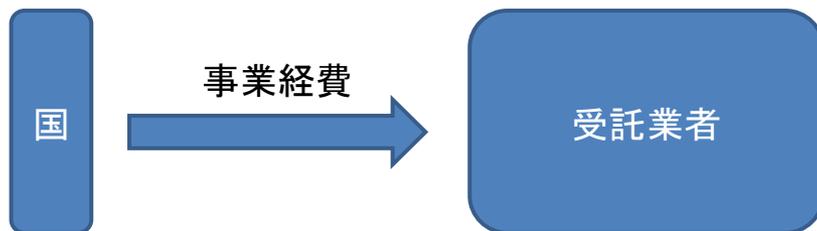
事業概要・目的

○潜在的に支援が必要な子どもや家庭を把握し、アウトリーチ型の支援につなげるためのデータ連携の取組を実証的に支援し、子どもを守るための情報・データ連携の全国展開に向けた取組を推進する。

事業イメージ・具体例

○地方自治体において、個々の子どもや家庭の状況や利用している支援等に関する教育・保健・福祉などの情報・データを分野横断的に連携し、精査を行うことで、個人情報の適正な取り扱いに配慮しながら、潜在的に支援が必要な子どもや家庭を把握し、アウトリーチ支援につなげる実証事業を実施する。

資金の流れ



期待される効果

○本実証事業の成果を踏まえて策定するデータ連携の全国展開に向けたガイドラインを地方自治体に共有し、地方自治体におけるデータ連携を促進することで、子どもの貧困や虐待等、潜在的に支援が必要な子どもの早期発見・早期解決につなげ、子育て・子ども世代への支援など包摂社会の実現に向けた取組を推進する。